



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月25日

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 稲妻 範彦  
 (氏名) 上村 定芳  
 TEL 03-5753-8201  
 配当支払開始予定日 平成30年12月12日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,115	21.2	351	31.5	433	25.5	235	37.9
30年3月期第2四半期	10,825	2.4	513	23.8	581	8.1	379	3.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 710百万円 (64.4%) 30年3月期第2四半期 432百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	14.71	
30年3月期第2四半期	23.67	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	20,613	13,592	60.1	772.26
30年3月期	19,759	13,231	60.9	750.02

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 12,385百万円 30年3月期 12,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		20.00	30.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 特別配当4円00銭

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	11.2	1,720	1.3	1,880	1.4	1,120	18.7	69.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	16,118,166 株	30年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	80,000 株	30年3月期	80,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	16,038,166 株	30年3月期2Q	16,038,166 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移したものの、大きな災害をもたらした豪雨、大型台風および地震の影響や米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦により先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年第4四半期より子会社となった株式会社ロジックスの影響による物流セグメントの追加等により、13,115百万円（前年同期比21.2%）と2,290百万円の増収となりました。一方、営業利益は、主力のアルミホイールの中で特に高級・中級品が伸び悩み、加えて原材料等の値上げによる原価高の要因により351百万円（前年同期比△31.5%の減益）、経常利益は433百万円（前年同期比△25.5%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、235百万円（前年同期比△37.9%の減益）となりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第2四半期連 結累計期間	9,472	2,609	818	208	554	△548	13,115
	前第2四半期連 結累計期間	9,406	—	799	213	451	△44	10,825
セグメン ト利益又は 損失(△)	当第2四半期連 結累計期間	280	92	△11	△21	12	△0	351
	前第2四半期連 結累計期間	516	—	△12	△15	24	—	513

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、9,472百万円となり前年同期比66百万円(0.7%)の増収となりました。これは、主力のアルミホイールは減少したものの、スチールホイール・用品等の売上が増加したことに拠ります。

一方、セグメント利益につきましては、アルミホイールにおいてお客様の低価格指向、原材料高等による原価高が影響し280百万円となり前年同期比236百万円(△45.7%)の減益となりました。

(物流事業)

前第4四半期より連結子会社となった株式会社ロジックスの営む物流事業の第2四半期期間の売上高は、2,609百万円となり、セグメント利益は92百万円と堅調に推移しました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は集客効果等により818百万円となり前年同期比19百万円(2.4%)の増収となりました。セグメント損失は11百万円となり前年同期比で若干の改善となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、入居者の減少により208百万円と前年同期比4百万円(2.3%)の減収となりました。セグメント損失は、主に売上の減少影響により21百万円となり前年同期比6百万円の損失となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、今年4月より新規オープンした酒田みずほ店により、511百万円となり前年同期比102百万円(25.0%)の増収、賃貸事業の売上高は43百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて554百万円となり103百万円(22.8%)の増収となりました。

一方、セグメント利益は、携帯電話代理店事業においては、新規店による初期費用により、10百万円の損失と前年同期比11百万円の減益となりました。また、賃貸事業は23百万円で前年同期とほぼ同額になり、合わせて12百万円と前年同期比11百万円(△48.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における総資産額は20,613百万円となり、前期末に比べて853百万円の増加となりました。主たる要因は、冬季商戦に向けての在庫増加によるものです。

負債総額は7,020百万円であり、前期末に比べて492百万円の増加となりました。主たる要因は在庫増加による買掛債務の増加によるものです。

純資産は13,592百万円となり、前期末に比べて360百万円の増加となりました。主たる要因は、繰延ヘッジ損益の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、第2四半期連結累計期間及び通期の連結・個別業績予想をそれぞれ修正いたしました。

詳細については、平成30年10月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,588,941	1,502,401
受取手形及び売掛金	4,048,925	4,119,788
電子記録債権	224,030	100,857
商品	2,892,181	4,613,587
仕掛品	237,751	190,336
原材料及び貯蔵品	59,969	55,801
デリバティブ債権	—	430,237
前渡金	547,553	826,006
その他	365,108	346,773
貸倒引当金	△1,632	△1,078
流動資産合計	10,962,828	12,184,710
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,625,056	6,696,546
減価償却累計額	△3,627,586	△3,728,689
建物及び構築物(純額)	2,997,470	2,967,857
土地	3,169,738	3,169,738
その他	1,643,413	1,656,953
減価償却累計額	△1,268,994	△1,313,987
その他(純額)	374,419	342,965
建設仮勘定	350,453	327,458
有形固定資産合計	6,892,082	6,808,020
<b>無形固定資産</b>		
のれん	158,728	149,556
その他	81,564	85,970
無形固定資産合計	240,292	235,527
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	492,722	458,465
繰延税金資産	265,401	184,601
退職給付に係る資産	82,609	71,147
その他	828,383	677,112
貸倒引当金	△4,910	△6,538
投資その他の資産合計	1,664,207	1,384,789
固定資産合計	8,796,582	8,428,337
資産合計	19,759,411	20,613,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,479,599	3,314,594
短期借入金	1,026,476	1,351,488
未払法人税等	480,559	189,030
携帯電話短期解約返戻引当金	320	496
賞与引当金	200,556	238,739
役員賞与引当金	46,050	15,400
デリバティブ債務	239,697	—
その他	963,884	716,108
流動負債合計	5,437,143	5,825,857
固定負債		
長期借入金	80,044	50,050
繰延税金負債	21,278	121,838
修繕引当金	94,000	100,000
退職給付に係る負債	164,810	173,962
役員退職慰労引当金	185,514	198,741
資産除去債務	192,607	194,511
その他	352,456	355,766
固定負債合計	1,090,711	1,194,869
負債合計	6,527,855	7,020,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	745,979	745,979
利益剰余金	10,395,328	10,310,503
自己株式	△47,760	△47,760
株主資本合計	11,946,298	11,861,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	197,337
繰延ヘッジ損益	△165,698	298,439
為替換算調整勘定	29,738	28,361
その他の包括利益累計額合計	82,567	524,138
非支配株主持分	1,202,690	1,206,709
純資産合計	13,231,556	13,592,320
負債純資産合計	19,759,411	20,613,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,825,143	13,115,666
売上原価	8,277,938	10,533,063
売上総利益	2,547,204	2,582,603
販売費及び一般管理費	2,033,435	2,230,731
営業利益	513,769	351,871
営業外収益		
受取利息	678	265
受取配当金	5,942	8,618
為替差益	34,585	7,902
持分法による投資利益	21,683	—
保険解約返戻金	—	36,863
その他	7,272	33,872
営業外収益合計	70,161	87,522
営業外費用		
支払利息	1,668	2,118
その他	379	3,921
営業外費用合計	2,047	6,040
経常利益	581,883	433,353
税金等調整前四半期純利益	581,883	433,353
法人税、住民税及び事業税	200,126	179,181
法人税等調整額	5,406	△15,087
法人税等合計	205,532	164,093
四半期純利益	376,351	269,260
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,334	33,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,685	235,938



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	376,351	269,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,126	△21,095
繰延ヘッジ損益	33,465	464,138
為替換算調整勘定	△544	△1,376
その他の包括利益合計	56,047	441,666
四半期包括利益	432,398	710,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,647	677,509
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,249	33,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,362,069	798,426	213,207	10,373,703	451,439	10,825,143	—	10,825,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,132	641	—	44,773	—	44,773	(44,773)	—
計	9,406,202	799,067	213,207	10,418,477	451,439	10,869,917	(44,773)	10,825,143
セグメント利益又は損失(△)	516,980	△12,330	△15,425	489,224	24,544	513,769	—	513,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,338,466	2,202,203	812,158	208,286	12,561,115	554,550	13,115,666	—	13,115,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	134,002	407,548	6,470	—	548,021	—	548,021	(548,021)	—
計	9,472,468	2,609,751	818,629	208,286	13,109,136	554,550	13,663,687	(548,021)	13,115,666
セグメント利益又は損失(△)	280,961	92,440	△11,909	△21,525	339,966	12,581	352,547	△676	351,871

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△676千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前第4四半期連結会計期間において、株式会社ロジックスの株式を追加取得し当社の連結子会社としております。これに伴い、報告セグメントに「物流事業」を新たに追加しております。